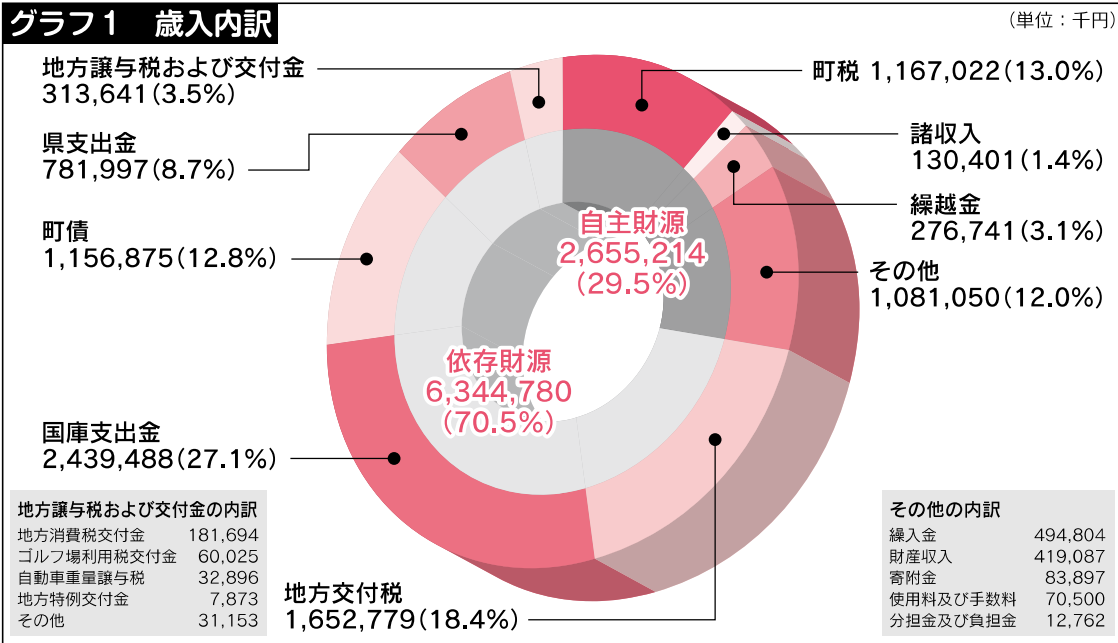


大郷町の決算概要

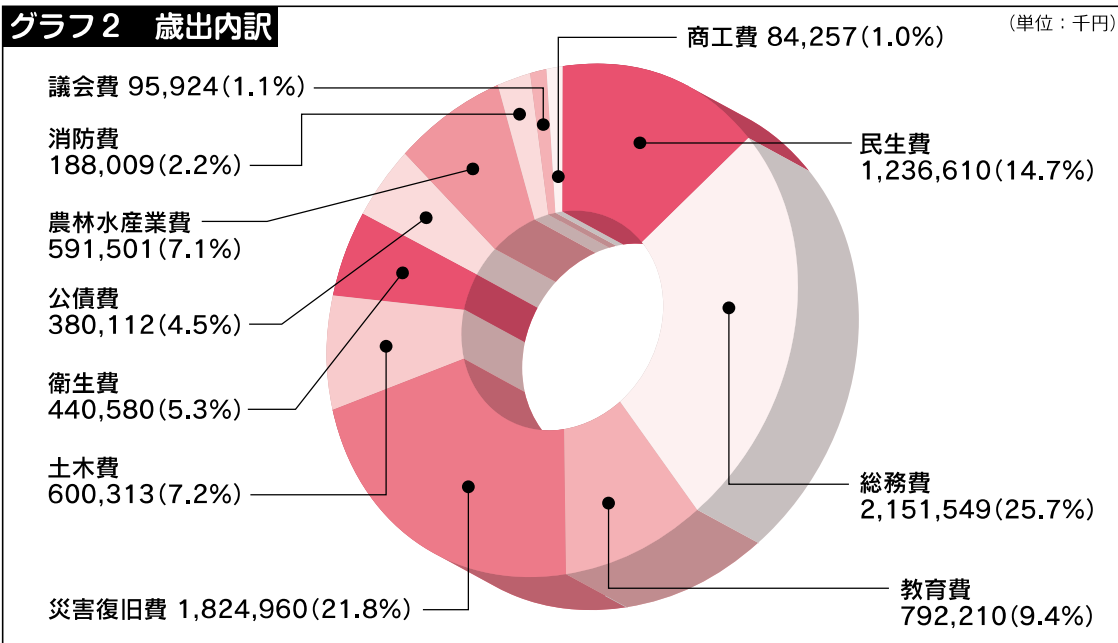
令和2年度の一般会計および各種特別会計の決算の概要をお知らせします。

一般会計

歳入 89億9,999万円



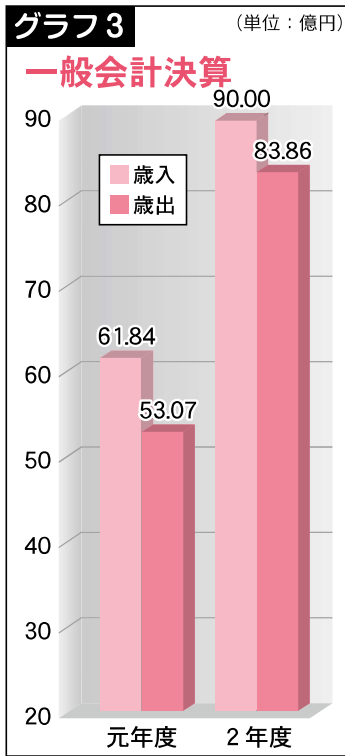
歳出 83億8,603万円



令和2年度の主な事業 (単位：千円)

- 災害復旧関係経費 1,824,960
- 特別定額給付金事業 804,573
- 黒川地域行政事務組合関係経費 411,590
- 強い農業・担い手づくり総合支援交付金(被災農業者支援)事業 245,764
- 町営住宅建設事業 128,874
- 小・中学校GIGAスクール事業 107,294
- 中学校トイレ改修工事 71,280
- 河川緊急浚渫事業 28,798
- すこやか子育て医療費助成事業 22,789



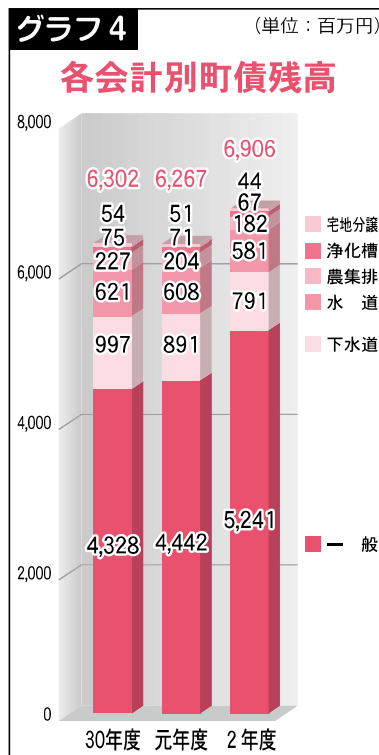
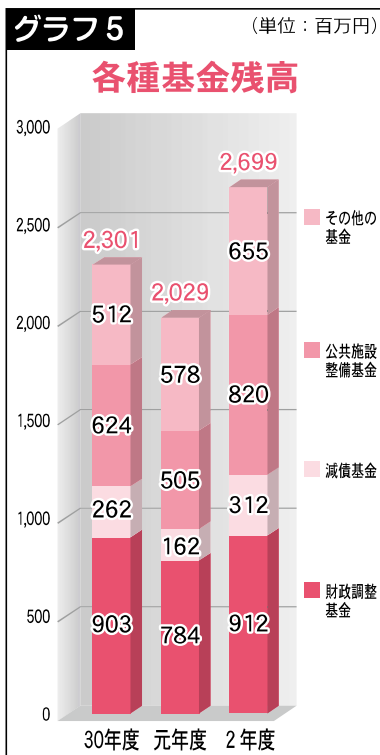


令和2年度の一般会計の決算概要は、右ページのグラフ1・2のとおりです。歳入から歳出を差し引いた剰余金は約6億1千4百万円で、そのうち年度内に事業が完了せず、翌年度に使うこととしたお金（繰越明許費等約1億9千万円）と、基金への積立金（3億6千万円）を除いた翌年度への繰越額は、約6千3百万円になりました。次に、グラフ3をご覧ください。

歳出全体では、前年度比で約30億7千9百万円の増となりました。内訳は、災害復旧費で令和元年台風19号災害の災害廃棄物処理等の進捗に伴い、約13億円が増加し、総務費では、特別定額給付金事業等のため、約11億8千8百万円の増加、農林水産費では、被災農業

者支援のための強い農業・担い手づくり総合支援交付金の増等により、約2億3千万円が増加しました。また、土木費では、町道の維持補修や橋梁改良、西光寺川の緊急浚渫事業、台風19号災害からの復興関連費用の増等により、約1億2千2百万円増加しました。歳入全体では、前年度比約28億1千6百万円の増となりました。内訳は、台風19号災害の復旧事業に関連し、国庫支出金が災害廃棄物処理費分で約3億2千万円の増、公共土木災害復旧費分で約3億1千万円の増となったほか、新型コロナウイルス感染症関連の特別定額給付金事業費補助金で約7億9千8百万円の増等により約18億7千3百万円が増加しました。

町税収入を令和3年3月末の人口7,774人で計算しますと、町民一人当たりでは約15万円です。対して町が使ったお金は同じく一人当たり約10万7千9百円になります。次に町債（借金）残高は、グラフ4のとおりです。災害復旧事業に伴う借入等により、一般会計の町債



残高は昨年より約7億9千9百万円増加し、約52億4千百万円となり、町民一人当たりでは約67万円になりました。また、基金（貯金）残高はグラフ5のとおりです。各種特別会計等の決算状況は、表1及び表2をご覧ください。

今後も財政健全化に向け、努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

表1 各種特別会計決算

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差し引き
国民健康保険特別会計	909,491	882,285	27,206
介護保険特別会計	1,068,473	1,033,020	35,453
後期高齢者医療特別会計	81,402	80,927	475
下水道事業特別会計	259,611	251,050	8,561
農業集落排水事業特別会計	73,508	67,388	6,120
戸別合併処理浄化槽特別会計	61,655	55,657	5,998
宅地分譲事業特別会計	23,486	11,911	11,575
計	2,477,626	2,382,238	95,388

表2 水道事業会計決算

(単位：千円)

区分	収入	支出	差し引き
収益的収支	247,174	243,024	4,150
資本的収支	23,129	97,236	△ 74,107

収益的収支：水道事業の経営状況
資本的収支：資産および資本の状況

※資本的収入が資本的支出に不足する額 74,107千円は、過年度分損益勘定留保資金69,876千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,231千円で補てんしました。